

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Academic English I・II		教員名	Nina Gibson	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	a year of experience at English language school			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

This class is aiming for improvement of students' knowledge about writing skills. Especially, practice for essay writing that students may experience when going abroad.

2. 授業計画 (2時限 100 分×授業回数 30 回＝総授業時数 3,000 分)

1	introduction to essay writing	16	writing practices & expressions ^⑮
2	writing practices & expressions ^①	17	writing practices & expressions ^⑯
3	writing practices & expressions ^②	18	writing practices & expressions ^⑰
4	writing practices & expressions ^③	19	writing practices & expressions ^⑱
5	writing practices & expressions ^④	20	writing practices & expressions ^⑲
6	writing practices & expressions ^⑤	21	writing practices & expressions ^⑳
7	writing practices & expressions ^⑥	22	writing practices & expressions ^㉑
8	writing practices & expressions ^⑦	23	writing practices & expressions ^㉒
9	writing practices & expressions ^⑧	24	writing practices & expressions ^㉓
10	writing practices & expressions ^⑨	25	writing practices & expressions ^㉔
11	writing practices & expressions ^⑩	26	writing practices & expressions ^㉕
12	writing practices & expressions ^⑪	27	writing practices & expressions ^㉖
13	writing practices & expressions ^⑫	28	writing practices & expressions ^㉗
14	writing practices & expressions ^⑬	29	writing practices & expressions ^㉘
15	writing practices & expressions ^⑭	30	writing practices & expressions ^㉙

3. 評価方法

Attendance 50% - Participation 30% - Assignment 20%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
N/A	N/A	N/A

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	留学入門		教員名	宮城 香里	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	アメリカの大学に留学し、卒業を経験している教員			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

- ・留学手続き、海外生活、文化の違い、留学希望先の学校や生活で起きうることを考え、それらに順応できるよう準備していく
- ・自分で問題解決をする力を身に付け、学生が自信をもてるように取り組む
- ・質問形式の演習や、グループワーク、先輩の体験談を聞くことを通して、留学のビジョンを明確にする

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 15回＝総授業時数 750 分)

1	ガイダンス		
2	留学希望先の国調査(アメリカ合衆国)		
3	留学希望先の国調査(アメリカ合衆国)		
4	留学希望先の国調査(アメリカ合衆国)		
5	留学希望先の国調査(オーストラリア)		
6	留学希望先の国調査(オーストラリア)		
7	留学希望先の国調査(オーストラリア)		
8	留学希望先の国調査、共有(カナダ)		
9	留学希望先の国調査、共有(カナダ)		
10	留学希望先の国調査、共有(カナダ)		
11	留学希望先国 決定		
12	留学先学校の調査①		
13	留学先学校の調査②		
14	パスポート取得方法		
15	前期まとめ		

3. 評価方法

出席-80% 発表・授業態度-10% 提出物-10%
夏休み中にパスポート取得する

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
海外で困ったら 大使館・総領事館のできるこ と	外務省領事局領事サービスセンター(海 外安全担当)	外務省

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	留学準備		教員名	宮城 香里	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	アメリカの大学に留学し、卒業を経験している教員			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

- ・留学手続き、エージェント、ビザ申請方法などを確認し、申請準備に入る
- ・海外生活、文化の違い、留学希望先の学校や生活で起きうることを考え、それらに順応できるよう準備していく
- ・自分で問題解決をする力を身に付け、学生が自信をもてるように取り組む
- ・先輩の体験談を聞くことを通して、留学のビジョンを明確にする

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 15回＝総授業時数 750 分)

1	海外ビザの種類について確認する		
2	海外エージェントについて		
3	海外保険について		
4	ビザ申請書類について		
5	留学経験者の体験談を聞く①		
6	留学経験者の体験談を聞く②		
7	留学体験者の体験談を聞く③		
8	各国領事館について		
9	留学先入学許可書確認		
10	ビザ申請予約確認		
11	留学奨学金について		
12	留学奨学金申請書類を確認		
13	留学奨学金申請手続き		
14	ビザ申請完了を確認		
15	後期まとめ		

3. 評価方法

出席-80% 発表・授業態度-10% 提出物-10%
夏休み中にパスポート取得する

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
海外で困ったら 大使館・総領事館のできるこ と	外務省領事局領事サービスセンター(海 外安全担当)	外務省

5. その他・特記事項

--

科目名	留学実務		教員名	上原 勇汰	配当年次	3
実務教員	○	実務教員の紹介	7年以上の塾講師や専門学校職員の経験あり			

1. 授業概要 (授業方法: 実務)

留学を通して、実践的で、かつ生きた英語に触れることによって、卒業後の進路である就職、進学へと繋げることが期待されている。また、留学中に学校に通った場合は、授業時間数に応じてこの授業へと互換される。

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 1,152 回＝総授業時数 960 時間(57,600 分))

1	留学出発		
2	留学基礎①		
3	留学基礎②		
4	留学基礎③		
5	留学基礎④		
6	留学基礎⑤		
7	留学実践①		
8	留学実践②		
9	留学実践③		
10	留学実践④		
11	留学実務①		
12	留学実務②		
13	留学実務③		
14	留学実務④		
15	留学実務⑤		

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80%以上 秀

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社

5. その他・特記事項

マンスリーレポート(月の活動報告書)の提出必須

科目名	留学実務		教員名	上原 勇汰	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	7年以上の塾講師や専門学校職員の経験あり			

1. 授業概要 (授業方法: 実務)

留学を通して、実践的で、かつ生きた英語に触れることによって、卒業後の進路である就職、進学へと繋げることが期待されている。また、留学中に学校に通った場合は、授業時間数に応じてこの授業へと互換される。

2. 授業計画 (1時限 50 分 × 授業回数 720回 = 総授業時数 600時間 (36,000 分))

1	留学出発		
2	留学基礎①		
3	留学基礎②		
4	留学基礎③		
5	留学基礎④		
6	留学基礎⑤		
7	留学実践①		
8	留学実践②		
9	留学実践③		
10	留学実践④		
11	留学実務①		
12	留学実務②		
13	留学実務③		
14	留学実務④		
15	留学実務⑤		

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80% 以上 秀

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社

5. その他・特記事項

マンスリーレポート(月の活動報告書)の提出必須

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	留学概論		教員名	上原 勇汰	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	7年以上の塾講師や専門学校職員の経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 講義 ）

この授業は、留学先で起こりうるあらゆる危険について考え、モデルケースや実際に起こった事例などを取り上げて、学生が主体的に学習し、留学中の危機管理能力を向上させることを目標とする。

2. 授業計画（2時限 100 分×授業回数 15回＝総授業時数 1,500 分）

1	オリエンテーション		
2	留学先調査①		
3	留学先調査②		
4	第1章 留学と危機管理 留学生の増加と多様化		
5	第1章 留学と危機管理 留学先のトラブル事例		
6	第1章 留学と危機管理 海外留学の危機管理		
7	第2章 出発前の安全対策 留学サバイバル力をチェック！		
8	第2章 出発前の安全対策 安全や医療に役立つ情報ソース		
9	第2章 出発前の安全対策 外務省海外安全ホームページの活用		
10	第2章 出発前の安全対策 海外旅行保険について		
11	第3章 出発・留学の始まり 出発時の荷物・仕分けチェックポイント		
12	第3章 出発・留学の始まり 留学スタート時の防犯対策		
13	第4章 留学中の危機管理 異文化に暮らす		
14	第4章 留学中の危機管理 心と身体健康		
15	第4章 留学中の危機管理 事故・事件に遭遇		

3. 評価方法

出席-80% 授業態度-10% 提出物-10%

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
海外留学危機管理ハンドブック		JCSOS－特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会

5. その他・特記事項

--

科目名	進学概説		教員名	上原 勇汰	配当年次	3
実務教員	○	実務教員の紹介	7年以上の塾講師や専門学校職員の経験あり			

1. 授業概要 (授業方法: 演習)

この授業は、大学3年次編入を希望する学生が対象となる。編入に必要な知識を身に付け、編入試験対策を行い、合格を目指すことが目的である。

2. 授業計画 (3時限 150 分×授業回数 15 回＝総授業時数 37.5時間(2,250 分))

1	オリエンテーション		
2	大学3年次編入とは		
3	編入試験概要		
4	単位互換について		
5	編入試験対策①		
6	編入試験対策②		
7	編入試験対策③		
8	編入試験対策④		
9	編入試験対策⑤		
10	編入試験対策⑥		
11	編入試験対策⑦		
12	編入試験対策⑧		
13	編入試験対策⑨		
14	編入試験対策⑩		
15	まとめ		

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80% 以上 秀合格

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
2025年度 沖縄国際大学 パンフレット		
2025年度 沖縄大学 パンフレット		
2025年度 沖縄キリスト教学院大学 パンフレット		

5. その他・特記事項

科目名	就職実務		教員名	稲福 潤	配当年次	3
実務教員	○	実務教員の紹介	企画、営業、販売員等の実務経験がある教員が行う授業			

1. 授業概要（授業方法： 演習 ）

学生に内定を活取る為の小手先のテクニックを教えるのではなく、これからの人生・社会を生き抜くための基盤を確立するための術を考えて教える。学生にとって良い将来の選択につなげる。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 45回＝総授業時数 37.5時間(2,250 分)）

1	就職活動に心構え	21	
2	就職活動に心構え	22	
3	就職活動に心構え	23	
4	就職活動の流れ	24	
5	就職活動の流れ	25	
6	就職活動の流れ	26	
7	自分自身を知る	27	
8	自分自身を知る	28	
9	自分自身を知る	29	
10	職業を知る	30	
11	職業を知る		
12	情報収集の方法		
13	企業研究		
14	企業研究		
15	就職試験		
16			
17			
18			
19			
20			

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％ 以上 秀 内定・採用通知者

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
勝つための就職ガイド（SUCCESS）、ワークシート		

5. その他・特記事項

科目名	企業実習（有給）		教員名	稲福 潤	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	企画、営業、販売員等の実務経験がある教員が行う授業			

1. 授業概要（授業方法： 実務 ）

座学と密接に関連した企業と連携を持ち職業人育成のため訓練生と実践力を獲得する。沖縄では外国人と接する機会が多く英語力を習得したいというニーズが高いがいざとなると話せないという経験のある人はかなりの数にのぼる。「話せた、通じた」という達成感に変えそこから英語力を活かした就職を目指し、直接雇用も視野に入れ実務経験を養う。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 960回＝総授業時数 800時間(48,000 分)）

1	社会常識	21	
2	社会常識	22	
3	社会常識	23	
4	ビジネスマナー	24	
5	ビジネスマナー	25	
6	ビジネスマナー	26	
7	コミュニケーション	27	
8	コミュニケーション	28	
9	基本能力	29	
10	基本能力	30	
11	基本能力		
12	協調性		
13	傾聴能力		
14	責任感		
15			
16			
17			
18			
19			
20			

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％以上 秀（受入企業評価シート）

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社

5. その他・特記事項

企業実習報告書(毎月シフト表)給与明細書など 企業評価シート(半期)年2回

科目名	英検準2級		教員名	Dana Hanna	配当年次	1～2
実務教員	○	実務教員の紹介	学習塾、専門学校等での豊富な指導経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習 ）

英検準2級合格を目指して、主に英文法、長文読解、英作文を学ぶ授業です。合格に欠かせない語彙力を伸ばしつつ、リーディング、リスニング、ライティング対策を行います。

英検は幅広い分野での就職で有利になるだけでなく、4技能（リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング）を図る試験なので、英語運用能力も身につきます。また、近年では英語能力を証明する検定として知名度も高くなってきており、留学でも活用できる検定となっています。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 90回＝総授業時数 75時間(4,500 分)）

1	2021年度 第1回 過去問（筆記）	21	2023年度 第2回 過去問（リスニング）
2	2021年度 第1回 過去問（リスニング）	22	2023年度 第3回 過去問（筆記）
3	2021年度 第2回 過去問（筆記）	23	2023年度 第3回 過去問（リスニング）
4	2021年度 第2回 過去問（リスニング）	24	2021年度 第1回 過去問（筆記）
5	2021年度 第3回 過去問（筆記）	25	2021年度 第1回 過去問（リスニング）
6	2021年度 第3回 過去問（リスニング）	26	2021年度 第2回 過去問（筆記）
7	2022年度 第1回 過去問（筆記）	27	2021年度 第2回 過去問（リスニング）
8	2022年度 第1回 過去問（リスニング）	28	2021年度 第3回 過去問（筆記）
9	2022年度 第2回 過去問（筆記）	29	2021年度 第3回 過去問（リスニング）
10	2022年度 第2回 過去問（リスニング）	30	2022年度 第1回 過去問（筆記）
11	2022年度 第3回 過去問（筆記）		
12	2022年度 第3回 過去問（リスニング）		
13	二次試験対策		
14	二次試験対策		
15	二次試験対策		
16	二次試験対策		
17	二次試験対策		
18	2023年度 第1回 過去問（筆記）		
19	2023年度 第1回 過去問（リスニング）		
20	2023年度 第2回 過去問（筆記）		

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％ 以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
2024年度 英検準2級過去6回全問題集	糸川秀樹	旺文社

5. その他・特記事項

科目名	英検準1級		教員名	宮城 香里	配当年次	1～2
実務教員	○	実務教員の紹介	1 5 年間の英語指導経験（学習塾・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習

全コース・全学年を対象とした英検準1級対策講座。過去問題に取り組むことにより出題の傾向を把握し実践的な英語力を身につけて、全員合格を目指す。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 90回＝総授業時数 75時間(4,500分)）

1	リスニング強化①（大問①）戦略法	21	模擬試験解答 ③
2	ボキャブラリー 大問①	22	長文対策③
3	文章問題①	23	長文対策④
4	英作文 ① フォーマット戦略法	24	要約対策②
5	英作文 ② 実践	25	要約対策③
6	リスニング強化②（大問②） A, B, C	26	要約対策④
7	長文対策①	27	要約まとめ
8	長文対策②	28	英作文対策 ②
9	リスニング強化 ③ D,E,F	29	リスニング強化 ⑤
10	リスニング強化 ④ G, H	30	ボキャブラリー 強化対策
11	ボキャブラリー テスト	31	ボキャブラリー 強化対策
12	英作文 解答（Re-write）	32	弱点強化
13	リスニング強化 ⑤ I, J, K	33	弱点教化
14	要約強化 ①		
15	要約実践		
16	英検模擬試験 ① part1		
17	英検模擬試験 ② part 2		
18	英検模擬試験 ③ 要約・英作部門		
19	模擬試験解答 ①		
20	模擬試験解答 ②		

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
2023年度版 英検準1級過去6回全問題集	糸川秀樹	旺文社

5. その他・特記事項

科目名	英検3級		教員名	城間 達之	配当年次	1～2
実務教員	○	実務教員の紹介	19年間の英語指導経験（学習塾・予備校・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習 ）

全コース・全学年を対象とした英検3級対策講座。過去問題に取り組むことにより出題の傾向を把握し英語の基礎を理解し、全員合格を目指す。英語の基礎である3級を取得することにより、上級クラスへ進級することで、より高度な英語を習得し、就職や進学を有利にするものとする。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 90回＝総授業時数 75時間(4,500分)）

1	2020年度 第1回 過去問	21	2020年度 第1回 過去問
2	2020年度 第2回 過去問	22	2020年度 第2回 過去問
3	2020年度 第3回 過去問	23	2020年度 第3回 過去問
4	2021年度 第1回 過去問	24	2021年度 第1回 過去問
5	2021年度 第2回 過去問	25	2021年度 第2回 過去問
6	2021年度 第3回 過去問	26	2021年度 第3回 過去問
7	2019年度 第1回 過去問	27	2019年度 第1回 過去問
8	2019年度 第2回 過去問	28	2019年度 第2回 過去問
9	2019年度 第3回 過去問	29	2019年度 第3回 過去問
10	2018年度 第1回 過去問	30	2018年度 第1回 過去問
11	文法 解説		
12	文法 解説		
13	リスニング		
14	リスニング		
15	2次試験対策		
16	2次試験対策		
17	2次試験対策		
18	2次試験対策		
19	2次試験対策		
20	2次試験対策		

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
英検3級過去6回全問題集	糸川秀樹	旺文社

5. その他・特記事項

科目名	英検2級		教員名	上原 勇汰	配当年次	1～2
実務教員	○	実務教員の紹介	7年間の英語指導経験（学習塾・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習 ）

英検2級に合格するために必要な語彙力、読解力、リスニング力、ライティング力を鍛え、過去問題を通して実際の問題と傾向に慣れることを目的とする。この授業は全コース、1～2年生を対象に英検2級合格することを目標とする。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 90回＝総授業時数 75時間(4,500 分)）

1	2023年度 第1回 過去問（筆記）	21	2021年度 第2回 過去問（リスニング）
2	2023年度 第1回 過去問（リスニング）	22	2021年度 第3回 過去問（筆記）
3	2023年度 第2回 過去問（筆記）	23	2021年度 第3回 過去問（リスニング）
4	2023年度 第2回 過去問（リスニング）	24	2022年度 第1回 過去問（筆記）
5	2023年度 第3回 過去問（筆記）	25	2022年度 第1回 過去問（リスニング）
6	2023年度 第3回 過去問（リスニング）	26	2022年度 第2回 過去問（筆記）
7	2024年度 第1回 過去問（筆記）	27	2022年度 第2回 過去問（リスニング）
8	2024年度 第1回 過去問（リスニング）	28	2022年度 第3回 過去問（筆記）
9	2024年度 第2回 過去問（筆記）	29	2022年度 第3回 過去問（リスニング）
10	2024年度 第2回 過去問（リスニング）	30	二次試験対策
11	2024年度 第3回 過去問（筆記）		
12	2024年度 第3回 過去問（リスニング）		
13	二次試験対策		
14	二次試験対策		
15	二次試験対策		
16	二次試験対策		
17	二次試験対策		
18	2021年度 第1回 過去問（筆記）		
19	2021年度 第1回 過去問（リスニング）		
20	2021年度 第2回 過去問（筆記）		

3. 評価方法

授業出席率及び合否結果

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
2025年度 英検2級過去6回全問題集	糸川秀樹	旺文社

5. その他・特記事項

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	World History		教員名	Nina Gibson	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	a year of experience at English language school			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

This class is aiming for improvement of students' knowledge about writing skills. Especially, practice for essay writing that students may experience when going abroad.

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 15 回＝総授業時数 750 分)

1	Introduction		
2	History of Canada①		
3	History of Canada②		
4	History of Canada③		
5	History of Australia①		
6	History of Australia②		
7	History of Australia③		
8	History of The U.S.①		
9	History of The U.S.②		
10	History of The U.S.③		
11	Comparative histories		
12	Comparative histories		
13	Comparative histories		
14	Comparative histories		
15	Comparative histories		

3. 評価方法

Attendance 50% - Participation 30% - Assignment 20%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	PC Word		教員名	山中 晴代	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	職業訓練校でのWord, Excel, Power Pointの指導経験 7 年			

1. 授業概要 （授業方法： 講義・演習 ）

Microsoft Wordを使用するための操作手順の習得を目的とし、主に、Wordの基本操作、オブジェクト・表の挿入、文字書式の設定等を学習していく。一般企業にて活用できるレベルでの操作技能の習得を目指す。また、Word検定3級取得を目指す。Microsoft Wordを用いて、通常のビジネス文書処理を行うことができる。同時に、パソコン、ワープロ、ビジネス文書に関する実践的な技能を有している。

2. 授業計画 （1時限 50分×授業回数 15回＝総授業時数 720 分）

1	基礎演習		練習問題7
2	基礎演習		練習問題8
3	基礎演習		練習問題9
4	基礎演習		練習問題10
5	基礎演習		模擬問題1
6	基礎演習		模擬問題2
7	基礎演習		模擬問題3
8	基礎演習		模擬問題4
9	基礎演習		模擬問題5
10	基礎演習		模擬問題6
11	基礎演習		サンプル問題
12	基礎演習		課題プリント
13	基礎演習		課題プリント
14	基礎演習		課題プリント
15	基礎演習		課題プリント

3. 評価方法

出席率40%、授業態度20%、提出物20%、テスト結果20%

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
「Word文書処理技能認定試験3級問題集」		サーティファイ

5. その他・特記事項

科目名	Tourism English II		教員名	上原 勇汰	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	7年間の英語指導経験（学習塾・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習 ）

この授業では、前期に学習した観光英検の知識を活かして、観光英語に関する更なる学びを深めることが目的である。また、観光地で起こりうる様々なシチュエーションを取り上げることで、学生達が身近に感じやすく、主体的に授業に参画できるように工夫されている。

2. 授業計画（2時限 100 分×授業回数 15 回＝総授業時数 25時間(1,500 分)）

1	オリエンテーション		
2	観光英語&シチュエーションラーニング①		
3	観光英語&シチュエーションラーニング②		
4	観光英語&シチュエーションラーニング③		
5	観光英語&シチュエーションラーニング④		
6	観光英語&シチュエーションラーニング⑤		
7	観光英語&シチュエーションラーニング⑥		
8	観光英語&ロールプレイ①		
9	観光英語&ロールプレイ②		
10	観光英語&ロールプレイ③		
11	観光英語&ロールプレイ④		
12	観光英語&ロールプレイ⑤		
13	観光英語&ロールプレイ⑥		
14	観光英語&ロールプレイ⑦		
15	観光英語まとめ		

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80% 以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
「ENGLISH FOR TOURISM ステップアップ観光英語」 「観光のための初級英単語と用例」	観光英検センター	三修社

5. その他・特記事項

--

科目名	Tourism English I		教員名	城間 達之	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	19年間の英語指導経験（学習塾・予備校・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習 ）

過去問から設問ごとに学習することで出題傾向を把握し、10月末の観光英検3級合格を目指し、観光業界必須の英語を学ぶ。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 54回＝総授業時数 45時間(2,700 分)）

1	大問1（単語）	21	
2	大問2（会話文）	22	
3	大問3（会話文）	23	
4	大問3（語句整序）	24	
5	大問4（語句整序）	25	
6	大問4（文章問題）	26	
7	大問4（文章問題）	27	
8	大問4（文章問題）	28	
9	大問4（文章問題）	29	
10	大問5（知識問題）	30	
11	大問5（知識問題）		
12	大問6（リスニング）		
13	大問7（リスニング）		
14	大問8（リスニング）		
15	大問9（リスニング）		
16	大問10（リスニング）		
17	総合問題		
18	総合問題		
19			
20			

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社

5. その他・特記事項

科目名	TOEFL 中級		教員名	宮城 香里	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	1 5 年間の英語指導経験（学習塾・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習

TOFEL ITPの出題形式・設問パターンに慣れ、英語（語彙・リスニング・リーディング）のスキルを強化し、頻出語彙・文法w体系的に復習する
•TOEFL ITP スコア400～420前後
•英検準2級～2級レベル相当の英語浴
•TOEFL ITP500点前後を目指す

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 30回＝総授業時数 75時間(4,500分)）

1	TOEFL ITPの形式確認とレベルチェック	21	
2	Listening A (Short Conversations)攻略①	22	
3	Listening A ② +ディクテーション練習	23	
4	Listening B (Longer Conversation)	24	
5	Listening C (Short Talks)実践	25	
6	Structure A (空所補充) 文法演習①	26	
7	Structure B (誤り発見) 文法演習②	27	
8	Structure まとめ+文法弱点補給	28	
9	Reading A（語彙問題・内容理解）	29	
10	Reading B（推論問題・構造理解）	30	
11	Reading 総合演習＋語彙確認		
12	総合演習①(Listening & Structure)		
13	総合演習②(Reading セクション)		
14	模擬テスト(全セクション・短縮版)		
15	フィードバックと今後の学習法		
16			
17			
18			
19			
20			

3. 評価方法

出席・参加態度 20%
ミニテスト（語彙・文法） 30%
模擬試験（中間・最終）
問題提出

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社

5. その他・特記事項

--

科目名	TOEFL 上級		教員名	宮城 香里	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	1 5 年間の英語指導経験（学習塾・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習

TOFEL ITPスコア 5 0 0 点以上を目指し、難易度の高い設問にも時間内に正答できる力を養う。自律的にTOEFL学習に取り組めるようにする
・ TOEFL ITPスコア 5 5 0 点以上を目指す
・ 留学準備・大学編入・奨学金審査などを視野に入れる
・ 細かい語法・読解力・倫理的理解力の強化する

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 30回＝総授業時数 75時間(4,500分)）

1	TOEFL ITP上級レベルの戦略と分析	21	
2	Listening A(Short Conversations)応用分析	22	
3	Listening B (Longer Conversations)	23	
4	Listening C (Short Talks) 静聴・要約演習	24	
5	Structure A(空所補充)難問攻略	25	
6	Structure B (誤り発見)応用演習	26	
7	文法と語法の総合演習・復習テスト	27	
8	Reading 1 長文読解の論理構造を理解する	28	
9	Reading 2 語彙・推論・文脈解釈	29	
10	Reading 3 詳細理解・意見・立場判断	30	
11	総合模擬①Listening +Structure(実践形式)		
12	総合模擬② Reading +セクション演習		
13	弱点補強・文法と語彙再確認		
14	ファイナル模擬試験(全セクション)		
15	結果分析と今後の対策ガイド		
16			
17			
18			
19			
20			

3. 評価方法

授業内模擬試験 40 %
問題（語彙・文法演習） 20%
出席・発言・活動参加（中間・最終） 20%
課題（まとめ・ノートなど） 20%

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
オリジナル語彙・文法演習プリント		

5. その他・特記事項

--

科目名	TOFEL 初級		教員名	宮城 香里	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	1 5 年間の英語指導経験（学習塾・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習

TOFEL初心者向けに基礎英語力（語彙・リスニング・リーディング）を養いながら、TOFEL ITP形式に少しずつなれる
•TOEFL ITPの試験形式と出題傾向を理解する
•セクション1（Listening）、セクション2（Structure）、セクション3（Reading）の基礎力をつける
•スコア400点台を目指す

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 30回＝総授業時数 75時間(4,500分)）

1	ガイダンス(試験の概要および学習戦略)	21	
2	リスニング入門(Part A: Short Conversation)	22	
3	リスニング強化(PartA 実践)	23	
4	リスニング(Part B: Longer Conversation)	24	
5	リスニング(Part C: Short Talks)	25	
6	Structure 入門(文の構造理解)	26	
7	Structure ① 不完全の補充(Structure)	27	
8	Structure ②間違い探し(Written Expression)	28	
9	Reading 導入(セクション3全体像と戦略)	29	
10	Reading ① 語彙問題&内容一致問題	30	
11	Reading ②推論問題と問題構造理解		
12	模擬テスト ①(Listening & Structure)		
13	模擬テスト②(Reading)+語彙強化		
14	苦手克服演習(個別カスタマイズ)		
15	総まとめ&ミニ模擬テスト		
16			
17			
18			
19			
20			

3. 評価方法

毎回のミニテスト・クイズ（30％）
課題提出（20％）
最終模擬試験スコア(30％）
授業参加・発言（20％）

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
オリジナルプリント（文法要点・語彙リスト）過去問形式のサンプル問題集		

5. その他・特記事項

--

科目名	TOEIC		教員名	上原 勇汰	配当年次	3
実務教員	○	実務教員の紹介	7年間の英語指導経験（学習塾・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法: 演習）

この授業は、長期または短期の留学を終えて、就職や進学を希望する学生が対象となる。TOEICは英検と並んで日本国内において、英語力を証明するための検定試験の内の一つである。就職はもちろんのこと、近年大学等の入試にも英語力を証明するための資格として設定されている学校も増えてきている。したがって、受講する学生には、TOEIC 600点越えを目指して主にリスニングとリーディングに力を入れ、ビジネス英語を学習し、最終的には受験することが求められる。

2. 授業計画（3時限 150 分×授業回数 15回＝総授業時数 2,250 分）

1	オリエンテーション	16	ビジネス英単語&TOEICリーディング問題⑤
2	ビジネス英単語&TOEIC練習問題①	17	ビジネス英単語&TOEICリスニング問題⑥
3	ビジネス英単語&TOEIC練習問題②	18	ビジネス英単語&TOEICリーディング問題⑥
4	ビジネス英単語&TOEIC練習問題③	19	ビジネス英単語&TOEICリスニング問題⑦
5	ビジネス英単語&TOEIC練習問題④	20	ビジネス英単語&TOEICリーディング問題⑦
6	ビジネス英単語&TOEIC練習問題⑤	21	ビジネス英単語&TOEICリスニング問題⑧
7	ビジネス英単語&TOEICリスニング問題①	22	ビジネス英単語&TOEICリーディング問題⑧
8	ビジネス英単語&TOEICリーディング問題①	23	ビジネス英単語&TOEICリスニング問題⑨
9	ビジネス英単語&TOEICリスニング問題②	24	ビジネス英単語&TOEICリーディング問題⑨
10	ビジネス英単語&TOEICリーディング問題②	25	TOEIC模擬試験①
11	ビジネス英単語&TOEICリスニング問題③	26	TOEIC模擬試験②
12	ビジネス英単語&TOEICリーディング問題③	27	TOEIC模擬試験③
13	ビジネス英単語&TOEICリスニング問題④	28	TOEIC模擬試験④
14	ビジネス英単語&TOEICリーディング問題④	29	TOEIC模擬試験⑤
15	ビジネス英単語&TOEICリスニング問題⑤	30	TOEIC模擬試験⑥

3. 評価方法

出席率、授業態度、提出物、試験結果を総合的に評価

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書名	著者名	出版社
公式TOEIC Listening & Reading 問題集 11	ETS	国際ビジネスコミュニケーション協会

5. その他・特記事項

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Regional Studies		教員名	Ting Wai Mei	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	several yaers of experience at English language school and qualified with TESOL certificate			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

The purpose of this class is to deepen students' geographical knowledge. Therefore, students are expected to learn world geography in English and deepen their understanding of climate and the environment. By deepening such knowledge, they will be able to have conversations smoothly with people from various countries when they study abroad.

2. 授業計画 (2時限 100 分×授業回数 15 回＝総授業時数 1,500 分)

1	Introduction to regional studies		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

3. 評価方法

Attendance 50% – Paticipation 30% – Assignment 20%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社

5. その他・特記事項

Paper or materials are distributed by the teacher

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

Class Title	Public Speaking III		Instructor	Nina Gibson		Grade	3
Qualification	○	Introducing Instructor	a year of experience at English language school				
1. Class Overview	(Teaching Style:)		50% Handouts	50% Discussion	100% Enthusiasim		
Course Description: Academic English will be an in-depth English language skills course to prepare you for study success at university and/or entering the English language workforce. This course provides opportunities to develop your independent learning strategies and individual needs in listening, speaking, reading and writing. Course Goals: Achieving the highest proficiency in English standardized testing and gaining transferable English skills for higher education and/or professional.							
2. Schedule (1class 3 period 150 分 × class times 15回 = total 2,250 minutes)							
1	Week 1 - Reading & Writing						
2	Week 2 - Reading & Writing						
3	Week 3 - Reading & Writing						
4	Week 4 - Reading & Writing						
5	Week 5 - Reading & Writing						
6	Week 6 - Listening & Speaking						
7	Week 7 - Listening & Speaking						
8	Week 8 - Listening & Speaking						
9	Week 9 - Review & Testing						
10	Week 10 - Review & Testing						
11	Week 11 - Review & Testing						
12	Week 12 - Review & Testing						
13	Week 13 - Review & Testing						
14	Week 14 - Testing						
15	Week 15 - Testing						
3. Evaluation Method							
Attendance 75% ☒ Participation 20% ☒ Assignments 5%							
A-: 100 - 90 ☒ 89 - 80 ☒ C: 79 - 70 ☒ D: 69 - 60							
4. Textbook•Reference (Book Title•Author•Publisher)							
Book Title			Author			Publisher	
5. Note							

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Public Speaking II	教員名	Nina Gibson	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	a year of experience at English language school		

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

This class focuses on speaking, one of the four English skills, starting with speaking practice, then moving on to conversation practice, with the ultimate goal of giving speeches and presentations in English.

2. 授業計画 (3時限 150 分×授業回数 30 回＝総授業時数 4,500 分)

1	Introduction to Public Speaking	16	Conversations & Group work③
2	Ice breaking & short conversation	17	Conversations & Group work④
3	Speaking practice & Pair work①	18	Conversations & Group work⑤
4	Speaking practice & Pair work②	19	Conversations & Group work⑥
5	Speaking practice & Pair work③	20	Conversations & Group work⑦
6	Speaking practice & Pair work④	21	Conversations & Group work⑧
7	Speaking practice & Pair work⑤	22	Conversations & Group work⑨
8	Speaking practice & Pair work⑥	23	Conversations & Group work⑩
9	Speaking practice & Pair work⑦	24	Speech & Presentation①
10	Speaking practice & Pair work⑧	25	Speech & Presentation②
11	Speaking practice & Pair work⑨	26	Speech & Presentation③
12	Speaking practice & Pair work⑩	27	Speech & Presentation④
13	Conversations & Group work①	28	Speech & Presentation⑤
14	Conversations & Group work②	29	Speech & Presentation⑦
15	Conversations & Group work③	30	Speech & Presentation⑧

3. 評価方法

Attendance-80% Presentation & attitude-20%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Practical English		教員名	Dana Hanna	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	Bachelors of Arts from Indiana University. 12 years teaching experience in the USA and in Japan. 3 years advertising experience in Japan.			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

The aim of this class is to improve listening skills through news articles. In addition to improving listening skills, the class is also expected to increase students' knowledge of world affairs and develop a global perspective by covering news from a wide range of fields.

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 15 回＝総授業時数 750 分)

1	Listening1	リスニング演習 グループワーク
2	Listening2	リスニング演習 グループワーク
3	Listening3	リスニング演習 グループワーク
4	Listening4	リスニング演習 グループワーク
5	Listening5	リスニング演習 グループワーク
6	Listening6	リスニング演習 グループワーク
7	Listening7	リスニング演習 グループワーク
8	Listening8	リスニング演習 グループワーク
9	Listening9	リスニング演習 グループワーク
10	Listening10	リスニング演習 グループワーク
11	Listening11	リスニング演習 グループワーク
12	Listening12	リスニング演習 グループワーク
13	Listening13	リスニング演習 グループワーク
14	Listening14	リスニング演習 グループワーク
15	Listening15	リスニング演習 グループワーク

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
DIALOGUE 1800 英単語・熟語ダイアログ1800 CNN ニュース・リスニング 準1級、最短合格 リスニング問題 完全制覇		旺文社出版 朝日出版社 The Japan Times他

5. その他・特記事項

--

科目名	PC Power Point 上級		教員名	城間 達之	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	スライドの作成及びプレゼンテーションの実務経験があり、指導実績がある。			

1. 授業概要（授業方法： 実務 ）

Microsoft PowerPointに関する基礎的な技能を有し、ビジネスシーンを想定した仕様に従った標準的なプレゼンテーションを作成することができる。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 54回＝総授業時数 45時間(2,700分)）

1	基礎演習	21	
2	基礎演習	22	
3	基礎演習	23	
4	基礎演習	24	
5	実技演習	25	
6	実技演習	26	
7	実技演習	27	
8	実技演習	28	
9	実技演習	29	
10	実技演習	30	
11	実技演習		
12	応用演習		
13	応用演習		
14	応用演習		
15	応用演習		
16	応用演習		
17	応用演習		
18	応用演習		
19			
20			

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％ 以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
「PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験問題集」、サーティファイ	サーティファイ コミュニケーション能力認定委員会	株式会社サーティファイ

5. その他・特記事項

科目名	PC Power Point 初級		教員名	城間 達之	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	スライドの作成及びプレゼンテーションの実務経験があり、指導実績がある。			

1. 授業概要（授業方法： 実務 ）

Microsoft PowerPointに関する基礎的な技能を有し、ビジネスシーンを想定した仕様に従った標準的なプレゼンテーションを作成することができる。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 54回＝総授業時数 45時間(2,700分)）

1	基礎演習	21	
2	基礎演習	22	
3	基礎演習	23	
4	基礎演習	24	
5	実技演習	25	
6	実技演習	26	
7	実技演習	27	
8	実技演習	28	
9	実技演習	29	
10	実技演習	30	
11	実技演習		
12	応用演習		
13	応用演習		
14	応用演習		
15	応用演習		
16	応用演習		
17	応用演習		
18	応用演習		
19			
20			

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％ 以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
「PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験問題集」、サーティファイ	サーティファイ コミュニケーション能力認定委員会	株式会社サーティファイ

5. その他・特記事項

科目名	Oral Communication I・II		教員名	Dana Hanna	配当年次	1～2
実務教員	○	実務教員の紹介	Bachelors of Arts from Indiana University. 12 years teaching experience in the USA and in Japan. 3 years advertising experience in Japan.			

1. 授業概要（授業方法： 演習 ）

Students will study vocabulary and grammar with a focus tenses popularly used on Eiken Pre-2 tests. The specific tenses and vocabulary will center around their daily lives as much as possible so that they can practice real world conversations through games, roleplaying, creative projects, etc.

2. 授業計画（3時限 150 分×授業回数 30 回＝総授業時数 75時間（4,500 分））

1	Talking About Your Break	16	Speaking practice & pair work①
2	Infinitives and gerunds	17	Speaking practice & pair work②
3	Passive Voice	18	Speaking practice & pair work③
4	Zero Conditional	19	Speaking practice & pair work④
5	First Conditional	20	Speaking practice & pair work⑤
6	Review Weeks 2 - 6	21	Review Weeks 16 - 20
7	Past Continuous	22	Conversations & group work
8	Second Conditional	23	Conversations & group work
9	Third Conditional	24	Conversations & group work
10	Review Weeks 7 - 10	25	Conversations & group work
11	How to Write a Speech	26	Conversations & group work
12	Speech Research and Writing	27	Review Weeks 22 - 26
13	Speech Research and Writing	28	Speech research and practice
14	Speech Practice	29	Speech research and practice
15	Speech Presentation	30	Speech Presentation

3. 評価方法

Attendance is the most important for this class

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書名	著者名	出版社

5. その他・特記事項

The teacher will prepare print outs.

科目名	Integrated English III・IV		教員名	宮城 香里	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	1 5 年間の英語指導経験（学習塾・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習

中級レベルの英文を正確に読み取る力をつける。実際のニュース記事、コラム、エッセイなどを題材とした読解練習。内容の要点をまとめたり、筆者の主張を読み取ったりするトレーニングを行う。英語でのディスカッション準備としての読解活動を行う。Integrated English IVでは批判的思考を伴う読解力の強化。複数の情報源を比較し、内容を分析・評価する練習。英語の長文（記事、論説文、物語など）を読み、意見や感想を述べる活動。プレゼンテーションやレポート作成に繋がる読解・要約力の育成をする。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 30回＝総授業時数 75時間(4,500分)）

1	the japan times alpha 記事①	21	Editorial ①
2	the japan times alpha 記事 ②	22	Editorial ②
3	the japan times alpha 記事 ③	23	English literature ①
4	the japan times alpha 記事 ④	24	English literature ②
5	the japan times alpha 記事 ⑤	25	English literature ③
6	the japan times alpha 記事 ⑥	26	American literature ①
7	the japan times alpha 記事 ⑦	27	American literature ②
8	the japan times alpha 記事 ⑧	28	Amrican literature ③
9	the japan times alpha 記事 ⑨	29	presentation ①
10	the japan times alpha 記事 ⑩	30	presentation ②
11	colum ①		
12	colum ②		
13	colum ③		
14	colum ④		
15	colum ⑤		
16	Essay ①		
17	Essay ②		
18	Essay ③		
19	Essay ④		
20	Essay ⑤		

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％ 以上

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
the Japan times alpha 英語で話す世界情勢	山久瀬洋二	株式会社ジャパントイムズ出版 IBCパブリッシング株式会社

5. その他・特記事項

科目名	Integrated English I・II		教員名	宮城 香里	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	15年間の英語指導経験（学習塾・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習

英語の基本的な読解力を養う。短い英文を読んで内容を理解する。語彙力や基本文法の確認、英語に慣れ、英語を読むことへの抵抗感をなくす。Integrated English IIでは、読解力をさらに高め、内容理解を深める。少し長めの英文を読んで、内容を理解する。要約や内容の推測、意見を述べる練習も含むことがある。読解だけでなく、英語で考える力の土台を作る。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 30回＝総授業時数 75時間(4,500分)）

1	ガイダンス	21	Japanese Occations ③
2	フォニックス学習①	22	Japanese Occations ④
3	フォニックス学習②	23	Japanese Occations ⑤
4	フォニックス学習③	24	The Ukuraine Issue and the Global Situation ①
5	フォニックス学習④	25	The Ukuraine Issue and the Global Situation ②
6	フォニックス学習⑤	26	The Ukuraine Issue and the Global Situation ③
7	フォニックス学習⑥	27	The Ukuraine Issue and the Global Situation ④
8	フォニックス学習⑦	28	The Ukuraine Issue and the Global Situation ⑤
9	Set Goal for Success ①	29	Globalization and Japan ①
10	Set Goal for Success ②	30	Globalization and Japan ②
11	Set Goal for Success ③		
12	Set Goal for Success ④		
13	Set Goal for Success ⑤		
14	Have Happy Days ①		
15	Have Happy Days ②		
16	Have Happy Days ③		
17	Have Happy Days ④		
18	Have Happy Days ⑤		
19	Japanese Occasions ①		
20	Japanese Occations ②		

3. 評価方法

秀95%・優90%・良80% 以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
Singposts For Balance In Love And Work Manners and converntions of daily life in Japan the Japantimes alpha	Vickei Bennett & Ian Mathieson Keishosai Ogasawara	IBC バブリッシング Tanko sha Japan Times publish

5. その他・特記事項

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Grammar III		教員名	伊禮 亮	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	海外勤務経験・塾講師			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

・授業の狙い
このクラスは、TOEICやTOEFLiBT資格試験取得を目的としている。TOEICの点数を上げるためには、Part5の問題を短時間で解き、正答率をいかに上げられるかが鍵になる。また、TOEFLiBTの点数を上げるためにも、アカデミックな文章を正しく読む訓練をする必要がある。こうしたことに対応するため、英文法の勉強を徹底するのが狙いである。

・到達目標
TOEICでは550点、TOEFLiBTでは54以上を目標とする。

・授業構成
1)いくつかのグループに分け、過去問や対策本の問題をグループ全員で解いてもらう。その後、グループの代表者に、なぜ他の選択肢は間違いで、残った答えが正答になるのか、口頭で説明してもらう。
2)リーディングの問題に関しては、英語の5文型を用いて、どの部分が重要な動詞で、どの部分が補語なのか、あるいは目的語なのかなどを学生に説明してもらった後に、英文を日本語に訳してもらう。
3)TOEICの文法問題に関しては、動詞、名詞、形容詞、副詞の違いをしっかりと認識した上で、なぜその箇所には副詞が入るのか、形容詞ではだめなのか、なぜ動詞、名詞や代名詞が入るのか、文法の理屈を用いて説明してもらう形をとる。

・対象学生・英語レベル設定
資格試験でいえば、TOEIC450点以上、英検2級レベルの学生を対象とする。

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 15 回＝総授業時数 750 分)

1	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
2	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
3	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
4	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
5	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
6	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
7	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
8	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
9	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
10	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
11	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
12	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
13	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
14	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク
15	資格試験対策講座	演習問題	グループワーク

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
スコアが上がる新TOEICテスト本番模試600問 ETS公認ガイドTOEFL iBT 他、		旺文社 Mc Graw Hill

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Grammar II		教員名	伊禮 亮	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	海外勤務経験・塾講師			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

・授業の狙い 留学生活の出だしで躓かないよう、しっかりと準備した上で、留学生活にある程度自信をもってスムーズに入っていくことがこの授業の最大の狙いである。 ・到達目標 英語圏の日常生活において自分の言いたいことを相手(ホストファミリー、友人、知人)に分かりやすく伝える能力は必須である。また、授業の中でのグループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションでの質疑応答などで、自分の意見をしっかりと述べることも求められる。こうしたことに対応できるようにするため、文法書の中のあらゆる英語構文を声にだして読み込むことで、シンプルな表現で自分の伝えたいことを相手に伝えたり、相手に対して質問できるようにする。 ・授業構成 このクラスでは、キク英文法をクラス全員で徹底的に音読していく。その上で、 1) 文法書に用いられているあらゆる例文を、講師のよびかけに応じて、現在形から過去形、肯定文から疑問文、否定文へ、肯定文から受け身へ、現在形を完了形へなど、これまで習った文法の知識を駆使して文法書に用いられている例文をパラフレーズする形で、英語表現のアウトプットを徹底する。これと併せて、英語日記パーフェクト表現辞典を用いて、様々な英語表現をインプットし、アウトプットする練習を繰り返す。 ・対象学生・英語レベル設定 資格試験でいえば、準2級～2級レベルの学生を対象とする。

2. 授業計画 (1時限 50 分 × 授業回数 15 回 = 総授業時数 750 分)

1	Grammar1 演習	動詞
2	Grammar2 演習	時制
3	Grammar3 演習	助動詞
4	Grammar4 演習	名詞と冠詞
5	Grammar5 演習	形容詞
6	Grammar6 演習	代名詞
7	Grammar7 演習	副詞
8	Grammar8 演習	不定詞
9	Grammar9 演習	動名詞
10	Grammar10 演習	分詞
11	Grammar11 演習	受動態
12	Grammar12 演習	疑問詞 比較
13	Grammar13 演習	接続詞 仮定法
14	Grammar14 演習	関係詞
14	Grammar15 演習	まとめ

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
キク英文法 英語日記パーフェクト表現辞典		アルク Gakken

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Grammar I		教員名	伊禮 亮	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	海外勤務経験・塾講師			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

・授業の狙い 中学・高校の英文法を一から復習することにより、文法知識の習得が、リーディング、ライティング、英会話においていかに大切になってくるのかを理解することが狙いである。 ・到達目標 Be動詞、一般動詞、肯定文と否定文、疑問文、完了形、仮定法、助動詞、形容詞、副詞、動名詞、分子、句と節などの文法用語に精通するとともに、その使い方をしっかりと理解した上で、口頭でも、ライティングでも、英文法の知識を駆使し、英語で自己紹介したり、週末の出来事などを英語で語るができるレベルまで持っていく。 ・授業構成 このクラスでは、 1) 講師主導で、英文法の基本を、英語構文を交えながら解説していく。 2) ある程度英文法が理解できたところで、自己紹介文などの文章を英語で実際に書いたり、週末をどのように過ごしたのか、英語で表現する練習をする。 3) 英検準2級、2級レベルのトピックを与え、文章のどこで、どのように文法が使われているのか、確認してもらう。 ・対象学生・英語レベル設定 このクラスを受講する学生は、英文法の知識が未だ曖昧で、英検準2級レベルの文章を理解するのが難しかったり、簡単な英語の文章が書けない学生を対象とする。

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 15 回＝総授業時数 750 分)

1	Grammar	文の種類
2	Grammar	動詞と文型
3	Grammar	動詞と時制
4	Grammar	助動詞
5	Grammar	受動態
6	Grammar	不定詞
7	Grammar	動名詞
8	Grammar	分詞
9	Grammar	前置詞
10	Grammar	関係詞
11	Grammar	接続詞
12	Grammar	比較 仮定法
13	Grammar	否定語
14	Grammar	まとめ①
15	Grammar	まとめ②

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
テキスト不使用		

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	General English I・II		教員名	Ting Wai Mei	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	several yaers of experience at English language school and qualified with TESOL certificate			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

This class is targeted at ESL students who need general English knowledge and are expected to take it abroad. Therefore, students are expected to learn the four general English skills comprehensively in English. Multifaceted English learning is carried out using various learning materials.

2. 授業計画 (2時限 100 分×授業回数 30 回＝総授業時数 3,000 分)

1	Introduction to General English	16	Intermediate B1 – The power of multilingualism
2	Pre-intermediate A2 – Favorite places	17	Intermediate B1 – Spill the tea: Explaining idioms
3	Pre-intermediate A2 – Managing emotions	18	Intermediate B1 – Starting a new school
4	Pre-intermediate A2 – How many languages can you speak?	19	Intermediate B1 – Challenges at school
5	Pre-intermediate A2 – Where do you shop?	20	Intermediate B1 – What is AI?
6	Pre-intermediate A2 – Families	21	Intermediate B1 – Yesterday
7	Pre-intermediate A2 – My AI teacher	22	Intermediate B1 – Writing: Mini things
8	Pre-intermediate A2 – Young people and television	23	Intermediate B1 – Literature is Great
9	Pre-intermediate A2 – World Book Day	24	Intermediate B1 – Give racism the red card
10	Pre-intermediate A2 – Save water	25	Intermediate B1 – The Climate Connection – Power to change
11	Pre-intermediate A2 – Love poems	26	Intermediate B1 – The Climate Connection – Making our school green
12	Pre-intermediate A2 – How green are you?	27	Intermediate B1 – Climate action – the winners
13	Pre-intermediate A2 – Film reviews	28	Intermediate B1 – Climate action – Ukraine school project
14	Pre-intermediate A2 – Drawing dictation	29	Intermediate B1 – Buy. Use. Toss.
15	Pre-intermediate A2 – Belfast(Good Friday) Peace Agreement – visual literacy	30	Intermediate B1 – Taking liberties

3. 評価方法

Attendance 50% – Paticipation 30% – Assignment 20%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
British Counsil Teaching English		

5. その他・特記事項

Paper or materials are distributed by the teacher

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

Class Title	Film Studies		Instructor	Kaori Miyagi		Grade	1
Qualification	YES	Introducing Instructor	15 years of practical experience teaching English (cram school, vocational school)				
1. Class Overview	(Teaching Style :)		50% Handouts	50% Discussion	100% Enthusiasim		
This course designed to help non-native speakers of English improve their oral/listening skills and their understanding of American culture through an examination of film. Course Goals: Students will improve their listening skills through film observation and assignments designed to test oral/listening comprehension, while also improving their overall understanding of the American people through reflections on cultural similarities and differences.							
2. Schedule (1class period 100 分 × class times 15回 =total 1,500 minutes)							
1	Introduction to Film Studies						
2	Film 1 Comprehension & Discussion Activities						
3	Film 2 Comprehension & Discussion Activities						
4	Film 3 Comprehension & Discussion Activities						
5	Film 4 Comprehension & Discussion Activities						
6	Film 5 Comprehension & Discussion Activities						
7	Film 6 Comprehension & Discussion Activities						
8	Film 7 Comprehension & Discussion Activities						
9	Film 8 Comprehension & Discussion Activities						
10	Film 9 Comprehension & Discussion Activities						
11	Film 10 Comprehension & Discussion Activities						
12	Film 11 Comprehension & Discussion Activities						
13	Film 12 Comprehension & Discussion Activities						
14	Film 13 Comprehension & Discussion Activities						
15	Film 14 Comprehension & Discussion Activities						
3. Evaluation Method							
Attendance 75% ☒ Participation 20% ☒ Assignments 5% A-: 100 - 90 ☒ 89 - 80 ☒ C: 79 - 70 ☒ D: 69 - 60							
4. Textbook•Reference (Book Title•Author•Publisher)							
Book Title			Author		Publisher		
N/A			N/A		N/A		
5. Note							
Electronic Media is only required for this class.							

科目名	PC Excel 3級		教員名	城間 達之	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	Excelの表計算（関数）・グラフ作成及び管理の実務経験があり、指導実績がある。			

1. 授業概要（授業方法： 実務 ）

Microsoft Excelを使用するための操作手順の習得を目的とし、主にExcelの基本操作、関数、グラフを学習していく。3級取得を目指す。ビジネス社会における通常の表計算処理を行うことができる。同時に、パソコン、表計算、ビジネス図表に関する実践的な技能を有している。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 54回＝総授業時数 45時間(2,700 分)

1	基礎演習	21	
2	基礎演習	22	
3	基礎演習	23	
4	基礎演習	24	
5	実技演習	25	
6	実技演習	26	
7	実技演習	27	
8	実技演習	28	
9	実技演習	29	
10	実技演習	30	
11	実技演習		
12	応用演習		
13	応用演習		
14	応用演習		
15	応用演習		
16	応用演習		
17	応用演習		
18	応用演習		
19			
20			

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％ 以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
「Excel 表計算処理技能認定試験3級問題集」、サーティファイ	サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会	株式会社サーティファイ

5. その他・特記事項

科目名	PC Excel 2級		教員名	城間 達之	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	Excelの表計算（関数）・グラフ作成及び管理の実務経験があり、指導実績がある。			

1. 授業概要（授業方法： 実務 ）

Microsoft Excelを使用するための操作手順の習得を目的とし、主にExcelの基本操作、関数、グラフ、フィルター等を学習していく。2級取得を目指す。ビジネス社会における通常の表計算処理を行うことができる。同時に、パソコン、表計算、ビジネス図表に関する実践的な技能を有している。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 54回＝総授業時数 45時間(2,700 分)）

1	基礎演習	21	
2	基礎演習	22	
3	基礎演習	23	
4	基礎演習	24	
5	実技演習	25	
6	実技演習	26	
7	実技演習	27	
8	実技演習	28	
9	実技演習	29	
10	実技演習	30	
11	実技演習		
12	応用演習		
13	応用演習		
14	応用演習		
15	応用演習		
16	応用演習		
17	応用演習		
18	応用演習		
19			
20			

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％ 以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
「Excel 表計算処理技能認定試験2級問題集」、サーティファイ	サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会	株式会社サーティファイ

5. その他・特記事項

科目名	English Tourism II		教員名	上原 勇汰	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	7年間の英語指導経験（学習塾・専門学校）の実務経験あり			

1. 授業概要（授業方法： 演習 ）

観光英検2級合格を目指して、主に観光に関する英語を学ぶ授業です。合格に欠かせない語彙力を伸ばしつつ、リーディングやリスニング対策を行います。

観光英検は観光業界での就職で有利になるだけではなく、海外旅行をする際に使える英語も同時に学べます。まだまだ知名度では英検には劣るものの、近い将来、観光産業が活発化する可能性を考えると、今のうちにぜひ取っておきたい検定です。

2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 30回＝総授業時数 25時間(1,500 分)）

1	第40回	過去問演習（筆記）	21	模擬試験②
2	第40回	過去問演習（リスニング）	22	模擬試験③
3	第41回	過去問演習（筆記）	23	模擬試験④
4	第41回	過去問演習（リスニング）	24	模擬試験⑤
5	第42回	過去問演習（筆記）	25	模擬試験⑥
6	第42回	過去問演習（リスニング）	26	模擬試験⑦
7	第43回	過去問演習（筆記）	27	模擬試験⑧
8	第43回	過去問演習（リスニング）	28	模擬試験⑨
9	第44回	過去問演習（筆記）	29	模擬試験⑩
10	第44回	過去問演習（リスニング）	30	模擬試験⑪
11	第45回	過去問演習（筆記）		
12	第45回	過去問演習（リスニング）		
13	第46回	過去問演習（筆記）		
14	第46回	過去問演習（リスニング）		
15	第40回	過去問演習（筆記）		
16	第40回	過去問演習（リスニング）		
17	第41回	過去問演習（筆記）		
18	第41回	過去問演習（リスニング）		
19	第42回	過去問演習（筆記）		
20	模擬試験①			

3. 評価方法

秀95％・優90％・良80％以上 秀検定取得

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書 名	著 者 名	出 版 社
「ENGLISH FOR TOURISM ステップアップ観光英語」 「観光のための初級英単語と用例」	観光英検センター	三修社

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	English Literature		教員名	Nina Gibson	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	a year of experience at English language school			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

This class is aiming for improvement of students' knowledge about writing skills. Especially, practice for essay writing that students may experience when going abroad.

2. 授業計画 (2時限 100 分×授業回数 15 回＝総授業時数 1,500 分)

1	Introduction to English literature		
2	How to read light novels in English		
3	Practice reading short passages①		
4	Practice reading short passages②		
5	Practice reading short paragraphs①		
6	Practice reading short paragraphs②		
7	Dr. Jekyll and Mr. Hyde Chapter 1～2		
8	Dr. Jekyll and Mr. Hyde Chapter 3～4		
9	Dr. Jekyll and Mr. Hyde Chapter 5～6		
10	Dr. Jekyll and Mr. Hyde Chapter 7～8		
11	Dr. Jekyll and Mr. Hyde Chapter 9～10		
12	Dr. Jekyll and Mr. Hyde Chapter 11～12		
13	Dr. Jekyll and Mr. Hyde Chapter 13～14		
14	Dr. Jekyll and Mr. Hyde Chapter 15～16		
15	Dr. Jekyll and Mr. Hyde Chapter 17 & Review Quiz		

3. 評価方法

Attendance 50% – Participation 30% – Assignment 20%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社

5. その他・特記事項

Prints and handouts are distributed by teacher

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	English Composition II		教員名	宮城 香里	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	県内短大を卒業しアメリカの大学に編入し卒業した。その後、県内専門学校にて英作文等の指導経験あり。			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

この科目では、English Composition I で習得した基本的な英作文スキルを基により発展的で実用的な英作文の向上を目指します。特に、複数パラグラフによる短いエッセイや意見文、比較・対照文、問題解決型エッセイなど、さまざまな形式でのライティングに取り組みます。

目標

- ・論理的な構成を持つエッセイを書けるようになるグラフをかけるようになる
- ・比較・対照、原因と結果などの理論的表現を適切に使えるようになる
- ・下書き・編集・構成のプロセスを通じて英文を洗練できるようになる
- ・他人の作文を読み、建設的なフィードバックをおこなえるようにする

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 15回＝総授業時数 750 分)

1	復習		
2	意見文①		
3	意見文②		
4	対照・比較①		
5	対照・比較②		
6	原因と結果		
7	問題解決型エッセイ		
8	引用と言い換え①		
9	引用と言い換え②		
10	編集と推敲①		
11	編集と推敲②		
12	相互レビュー		
13	相互レビュー		
14	期末エッセイ導入		
15	期末エッセイまとめ		

3. 評価方法

授業内ライティング課題:40%
 小テスト・文法確認:20%
 授業参加・相互レビュー:20%
 期末エッセイ(まとめの課題):20%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
講師配布プリント(中級レベル)		

5. その他・特記事項

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	English Composition I		教員名	宮城 香里	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	県内短大を卒業しアメリカの大学に編入し卒業した。その後、県内専門学校にて英作文等の指導経験あり。			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

この科目では、英語による基本的な英作文スキルの習得を目的とします。パラグラフ構成やエッセイの基本形式を学び、自分の考えや意見を明確かつ正確に英語で表現できる力を養います。

達成目標

- ・正しい英文の構成(主語・動詞・文法)を理解し、使いこなせるようになる。
- ・トピックセンテンスとサポートセンテンスを用いて、まとまりのあるパラグラフをかけるようになる
- ・短いエッセイ(3パラグラフ構成など)を組み立てて書けるようになる。
- ・英作文におけるプロセス(計画、下書き、推敲、編集)を身につける

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 15回＝総授業時数 750 分)

1	文とパラグラフの書き方		
2	主題文と詳細文について		
3	一貫性とまとまり		
4	エッセイの構造:序論		
5	エッセイの構造:本文		
6	エッセイの構造:結論		
7	実践エッセイ1		
8	実践エッセイ発表		
9	物語文①		
10	物語文②		
11	描写文①		
12	レビューと編集		
13	自己作品作成		
14	自己作品発表		
15	まとめ		

3. 評価方法

課題提出(パラグラフ・エッセイ)40%

小テスト・文法確認テスト 20%

出席・授業参加 20%

期末エッセイ 20%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
講師配布プリント		

5. その他・特記事項

--

科目名	Cross Culture II		教員名	河村 舞	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	観光業、海外留学、移住、勤務経験者			

1. 授業概要 (授業方法:講義・グループワーク)

【授業目的】
・異文化について学び、様々な文化の価値観を知る
・自己の置かれた文化について考える
・異なる文化的背景を持つ人々と交流する際に、必要なことは何かを考える
・留学中起こりうる生活習慣の違いや、現地での多様性をイメージする
【到達目標】
・様々な国の文化を比較、研究し、理解を深める
・世界の中での日本に関する知識を持ち、自己の文化について詳しく語ることができる
・意見交換とロールプレイを通じて学んだ事を、留学生活に置き換えて考えることができる

2. 授業計画 (2時限 100 分×授業回数 15回＝総授業時数 1,500 分)

1	ステレオタイプと無意識の偏見	100	偏見が生まれる仕組みとその影響
2	沖縄文化をどう伝えるか	100	沖縄と日本文化を区別し英語で説明
3	異文化誤解のケース分析①	100	英語圏での摩擦や誤解の例
4	異文化誤解のケース分析②	100	実際の留学生体験談をもとに議論
5	非言語表現とコンテクスト	100	表情、ジェスチャー、沈黙の意味など
6	英語圏の価値感（自由・平等）	100	自由・平等について事例とともに比較
7	「常識」の違いとユーモア	100	異文化におけるジョーク、暗黙のルール
8	礼儀・マナーの違い	100	食事、時間、行動の文化差
9	英語で異文化対応①	100	丁寧な表現、依頼
10	英語で異文化対応②	100	断り、意見交換
11	世界の経済格差	100	世界と日本の経済の違いについて
12	異文化適応とストレス管理	100	カルチャーショックとの向き合い方
13	異文化トラブルと対処法	100	トラブルの例と解決方法
14	祝日から知る留学先の歴史	100	留学先の祝日をもとに歴史を理解する
15	課題ORレポート	100	

3. 評価方法

出席率、授業態度、提出物によって評価

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
「映画での異文化体験 異文化コミュニケーション講座」桜木俊行 SCREEN新書		
「ケースで学ぶ異文化コミュニケーション」久米昭元、長谷川典子 有斐閣選書		
「Intercultural Communication for English Language Learners in Japan」Troy McNachy、古家聡、櫻井千佳子 NANUN-DO		

5. その他・特記事項

--

科目名	Cross Culture II		教員名	Nina Gibson	配当年次	2
実務教員	○	実務教員の紹介	a year of experience at English language school			

1. 授業概要 (授業方法: 講義・グループワーク)

[Course Objectives]			
・ Learn about different cultures and understand the values of various cultures.			
・ Think about your own culture.			
・ Think about what is necessary when interacting with people from different cultural backgrounds.			
・ Imagine the differences in lifestyle that may arise during study abroad and the diversity that exists in the local community.			
[Goals]			
・ Compare and study the cultures of various countries to deepen your understanding.			
・ Gain knowledge about Japan in the world and be able to talk in detail about your own culture.			
• Apply what has been learned through discussion and role-playing to consider how it relates to study abroad life			

2. 授業計画 (2時限 100 分×授業回数 15回＝総授業時数 1,500 分)

1	Introduction to Cross Culture		
2	American culture - foods, fashions, and houses		
3	Canadian culture - foods, fashions, and houses		
4	Australian culture - foods, fashions, and houses		
5	Comparison between American and Japanese culture		
6	Comparison between Canadian and Japanese culture		
7	Comparison between Australian and Japanese culture		
8	Comparison between American and Australian culture		
9	Comparison between American and Canadian culture		
10	Comparison between Canadian and Australian culture		
11	Research for different cultures①		
12	Research for different cultures②		
13	Research for different cultures③		
14	Research for different cultures④		
15	Research for different cultures⑤		

3. 評価方法

出席率、授業態度、提出物によって評価

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社
N/A		

5. その他・特記事項

--

科目名	Cross Culture I		教員名	河村 舞	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	観光業、海外留学、移住、勤務経験者			

1. 授業概要（授業方法:講義・グループワーク）

【授業目的】
・異文化について学び、様々な文化の価値観を知る
・自己の置かれた文化について考える
・異なる文化的背景を持つ人々と交流する際に、必要なことは何かを考える
・留学中起こりうる生活習慣の違いや、現地での多様性をイメージする
【到達目標】
・様々な国の文化を比較、研究し、理解を深める
・世界の中での日本に関する知識を持ち、自己の文化について詳しく語ることができる
・意見交換とロールプレイを通じて学んだ事を、留学生活に置き換えて考えることができる

2. 授業計画（2時限 100 分×授業回数 15回＝総授業時数 1,500 分）

1	異文化体験紹介①	100	海外旅行、海外留学のケース
2	異文化体験紹介②	100	国際舞台で起きる摩擦
3	表現の違い（意思伝達）	100	英語と日本語の表現の違い(Noの大切さ)
4	異文化間のマナー	100	挨拶、会話、チップカルチャー
5	文化の違いは歴史の違い①	100	映画や音楽を題材に世界の歴史を知る
6	文化の違いは歴史の違い②	100	映画や音楽を題材に世界の歴史を知る
7	多様性の時代	100	人種、LGBTQとは
8	国ごとの英語（アクセント）①	100	リスニング教材で国ごとに違う英語を知る
9	国ごとの英語（アクセント）②	100	リスニング教材で国ごとに違う英語を知る
10	日本と世界の食文化・祭り	100	日本と世界の料理と祭り
11	世界の治安、貨幣価値	100	海外で暮らす心構え、お金の価値観
12	日本、沖縄について語る	100	留学先で英語で日本、沖縄について話せる
13	留学先の知識を深める	100	留学先の人口、人種、首都などを知る
14	ディベート（討論）	100	自分の考えを筋立てて主張できるようになる
15	課題ORレポート	100	

3. 評価方法

出席率、授業態度、提出物によって評価

4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

書名	著者名	出版社
「映画での異文化体験 異文化コミュニケーション講座」桜木俊行 SCREEN新書		
「ケースで学ぶ異文化コミュニケーション」久米昭元、長谷川典子 有斐閣選書		
「Intercultural Communication for English Language Learners in Japan」Troy McNachy、古家聡、櫻井千佳子 NANUN-DO		

5. その他・特記事項

--

2025年度 商業実務専門課程 国際ビジネス本科 尚学院国際ビジネスアカデミー

科目名	Basic Vocabulary		教員名	上原 勇汰	配当年次	1
実務教員	○	実務教員の紹介	7年以上の塾講師や専門学校職員の経験あり			

1. 授業概要 (授業方法: 講義と演習)

英検準2級～2級レベルの語彙力を身に付けることを目標とする。グループワークを通して、学生同士のコミュニケーション能力を向上させるとともに、学習した語彙を自然な形で使えることが期待される。

2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 15回＝総授業時数 750 分)

1	Vocabularies	演習 グループワーク1
2	Vocabularies	演習 グループワーク2
3	Vocabularies	演習 グループワーク3
4	Vocabularies	演習 グループワーク4
5	Vocabularies	演習 グループワーク5
6	Vocabularies	演習 グループワーク6
7	Vocabularies	演習 グループワーク7
8	Vocabularies	演習 グループワーク8
9	Vocabularies	演習 グループワーク9
10	Vocabularies	演習 グループワーク10
11	Vocabularies	演習 グループワーク11
12	Vocabularies	演習 グループワーク12
13	Vocabularies	演習 グループワーク13
14	Vocabularies	演習 グループワーク14
15	Vocabularies	演習 グループワーク15

3. 評価方法

出席率50% 授業活動参加50%

4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書 名	著 者 名	出 版 社

5. その他・特記事項

--